

～科学へのいざない～ (再掲あり)



第2回 Girl's Expo Science Ethics 【SSH事業】

日頃の探究活動の成果の発表を通じて交流を行い、他校の生徒間との友好を図るとともに、発表に対する専門家からの助言を得ることを通じて、探究活動のレベルを上げることができます。大学、企業、高専ブースが設けられており、サイエンスカフェも開催される予定です。Girl's Expo として、理系女子の育成を推進することを目的としていますが、見学参加生徒は男女問わず可能です。

実施日：2023年2月12日(日) 9:00～17:00 @姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」

申込：2023年1月24日(火)までにGS科の先生にその旨を伝えに来ること。

京都大学理学部COCOUS-R 【高大連携事業】

女子高校生を対象としたCOCOUS-R(ここ 明日 ある)事業は、高校生の主体的な学びを進めるために探究活動を支援することを目的としています。高校生が京都大学理学部生・理学研究科の大学生と交流することで、京都大学理学部や理学についても、より一層理解を深めることができます。

実施期間：2023年2月～2024年3月

実施頻度：月2回のオンライン会議

対象：女子生徒。高校1年生(2023年1月現在)。

参加費：無料

内容：女子高校生1～3名につき、2名の京都大学理学部生が探究活動をオンラインで進める。

(2023年夏休み期間に、京都大学理学部現地にて探究活動の発表会を開催することを検討中。)

申込：1月25日(水)までにGS科の先生に“学年・クラス・氏名”を伝えに来ること。

第18回 京都大学附置研究所・センターシンポジウム

テーマ：京都からの挑戦 - 地球社会の調和ある共存に向けて

サブテーマ：創造への多様性 - 京大の多様な最先端

参加費：無料

会場：新潟県民会館大ホール もしくは オンライン

申込：HPの「高校専用・オンライン参加申込み方法」から個人で申込む

(高校専用の先行受付は令和5年1月中旬で申込〆切。その後、一般の方用のオンライン参加申込フォームにて申込むこと可能。)

開催日：2023年3月4日(土) 10:00～17:00

☆ 興味がある方は、公式HP <https://kurca.kyoto-u.ac.jp/sympo2023> をご覧ください。



Days通信のマスコットキャラクター大大募集！！

このDays通信のマスコットキャラクターをつくりませんか？



応募期間：本日～2月3日(金) 応募資格：どなたでも大歓迎です！

キャラクター条件：① Days通信らしさがあり、親しみやすいキャラクター



② 生き物でも生き物でなくてもOK

③ オリジナルのキャラクター



すでに応募してくれた人もいます！



molモット

応募方法：職員室GS科の先生に直接連絡ください。応募者にはささやかなプレゼントがあります！

○ SSH事業 学校設定科目「GS I」探究基礎実習Ⅳ

2学期期末試験後、12月17日(土)にGS科1年生が探究基礎実習を行いました。大阪大学大学院理学研究科から久保孝史教授(構造有機化学研究室)と船橋靖博教授(生物無機化学研究室)、そしてTAとして5名の学生に来校していただきました。

本校の化学教室にて、先生方の紹介があり、その後10チームに分かれて先生方が見守るなか、データロガーを用いた実験装置を組み立て、実験を行いました。

午後には、実験結果が出るまでの間、物理教室で久保教授に「再生可能なエネルギー」、船橋教授に「からだの中の金属のはたらき」について講義をしていただき、随所で探究心をくすぐられました。短い時間でしたが、分かりやすく丁寧に教えていただきました。

ふたたび化学教室へ場所を移し、設定された課題に取り組みました。各チームにはTAの方がついてくれて、アドバイスしてもらいながら実験を進めました。TAの方には実験終了後に、高校のときの勉強方法や大学での研究活動など、いろいろなお話をしていただき、質問にも答えていただきました。

この日の最後には全チームが実験結果を発表し、その上でそれぞれが今後探究したい課題を設定しました。冬休みにかけて設定された「探究ウィーク」を利用して、この課題に取り組み、主体的に活動しました。

探究ウィーク中、どのチームも非常に熱心に実験を行い、議論を重ねましたが、次々に新たな疑問点が見つかり、時間が足りないほどでした。

年が明け、3学期の始業式を迎える前の1月7日(土)、大阪大学理学部を会場にして、それぞれが探究した内容を久保教授、船橋教授、そして保護者の方々が参観する中、発表実習を実施しました。緊張しつつも、全員が堂々と発表し、質疑応答していました。この発表実習は、1月末に行われる「兵庫サイエンスフェアin兵庫」の代表選考も兼ねていたため、審査も行われていましたが、各チームの意気込みが伝わってきました。発表後の鋭い指摘に困惑する瞬間もありましたが、これまでの基礎実習で高めてきた経験を活かすことができました。

発表実習の最後には、今回お世話になった久保教授、船橋教授から講評と今後への助言をいただきました。船橋教授から「実験が一番の先生である」といったお話をしていただきました。今回、ある課題を解明することを目的とした実験から始まった探究実習ですが、とても充実したものになりました。大阪大学の先生、TAの方々には大変お世話になりました。

